



慶應義塾大学

論理と感性のグローバル研究センター

Jonathan L. Katz 博士講演会のお知らせ

**“Dopamine Receptors and a Behavioral
Economic Assessment of Food
Reinforcement.”**

▪ **Jonathan L. Katz, Ph.D.**

(National Institute on Drug Abuse 心理部門主幹,
Drexel大学医学部薬理・神経科学部門長)

日時: 2015年9月30日(水) 16:30~17:30

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 東館G-SEC 4階セミナールーム

<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>

【講演内容】

Katz博士はアメリカ合衆国の国立薬物依存研究所(NIDH)の心理部門主幹として、薬物依存行動に関する神経機構の先端的研究を展開されています。本講演では、行動経済学的観点から見た食餌強化行動とドーパミン受容体との関係についてお話しいただく予定です。大変貴重な機会ですので、皆様奮ってご参加ください。

共催: 論理と感性のグローバル研究センター、新学術領域研究「共感性の進化・神経基盤」

問い合わせ: 伊澤栄一 文学部・心理学専攻 e-mail: izawa@psy.flet.keio.ac.jp